

ハ乙女

鶯に朝日さすなり竹格子

浪化



絵・田村淳子

年頭にあたって

館長 前川 裕

輝かしい新春を、ご家族皆様ご気嫌うるわしくお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は「スポーツを通して健康づくりの輪を広げよう」をテーマに、スポーツ推進委員の方々を指導者として積極的に活躍、多くの方々の参加を得て一応の成果を収めることが出来ましたことはご同慶に耐えませんが。

マラソン、百メートル競争であれ、重量挙げであれただやみくもに走る、挙げるだけで良いと言うのではなく、スタートラインに立つまでに体調を整え、心身の緊張感これらの訓練の積み重ねが勝敗は別として必要かと思うのであります。例えば重量挙げ、たしかに記録更新が目標であり、それがトレーニングの支えとなるにしろバーベルのバーへ手をかけた瞬間にあるように、その静から動への飛躍が当人を陶醉させるように思えます。これは私一人よがりの解釈でしょうか。生涯健康であることは人生の何よりの宝と言わねばなりません。本年はさらに一人一スポーツを普及徹底し所期の目的を達成するためにも屋内体育館の建設着工に向け努力を重ねたい所存でございます。

生涯教育に公民館活動を定着した実のあるものにもって行く、そこに話し合いの場を広げ自己啓発にすすんで参加いただき、人間形成に一段と磨きをかけ教養を高めて参りたいと念願してやみません。地区ぐるみ住みよいくふるさと作りに、環境づくりに、八〇年代に対応し、のりこえて行くにはありませんか。

所感の一端をのべ年頭のご挨拶といたします。

町長と語る会

十二月六日 夜七時三十分より
場所・公民館大ホール
参会者・地区町民八十四名

倉嶋委員の司会により、まず川原町長から、当面の町政現況、特に五十五年度の転作問題を含め明年度以降の重要施策方針について説明があり、ついで参会の町民多数から、活発な質問・要望・意見が出された。

主な話題は次の通り。

- ア 町の将来的プロジェクトの八乙女山トンネルの着工見通しについて
- イ 地域として関心の深い林道赤祖父線の連絡道路、部落口山林道の整備促進(特に台風十六号の災害復旧)
- ウ 冬季の町道除雪について、きめこまかな施策
- エ 冬季の通学路の安全確保ならび防火灯の建設
- オ 十三% 転作と代替作物等の問題
- カ 地域の町民スポーツ推進のための公民館体育施設の増築
- キ 偶々、山野地区に農林健康センターが新築中のこともあって、青年、婦人壮年の方から積極的な意見が出た。
- ク 防火運動に必要な、消火栓ならび防火貯水槽の増設
- ケ 圃場整備事業のさらに推進と町助成ならび指導助言
- コ 戸板団地関係の下水処理および町営住宅の払い下げ
- ク 地域の農道舗装工事の促進
- サ 町総合計画の町民PRならび積極的

- シ 厚生病院の通院バス
- ス 老人、身傷者対策のうちの公衆便所の設置
- セ 十一月三日制定の町民憲章の町民への定着
- ソ 高額医療費の町立替え

順調に進んだ は場整備

旅川上流排水事業に関連して始まったは場整備事業は、地区民の積極的な協力により、昭和五十年に着手して以来五年の歳月が経過、本年度で二一〇ヘクタールの面工事が一応終了、これから農道舗装や水路の整備等、環境の改善に進むことになる。

先に完成した旅川上流排水事業は一億六千万円の事業費と十年の歳月をかけて立派に完成し今年九月発生した十六号台風にその威力を発揮し、河川の災害が免れたものと思われる。

昨今の農業情勢はきびしく、この事態に対処するため、今後もしろいろの対策が必要となるが、モデル事業の関連等併せて、事業の完成に格段の協力が望まれる。

町体育祭に連続次勝

十月十四日、快晴にめぐまれた青空の下で、第八回井波町体育祭が行われた。衆議員選挙も終りなごやかな会場全体の様子。
我がチームのベンチにも選手、応援の人たちで二張りのテントも満員の状態、各チームそれぞれ自分のチームの色のノボリをあげるやら、旗をたてるやらで大会にふさわしい風景。

開会式は新しく誕生した綿貫代議士を始め来賓多数。

九時三十分、高令者の満水レースより競技開始、選手の掌握に役員走る。高令者のトップのゲーム成績におおられ後続のゲーム選手もハッスル。二つの競技において下位得点であったが残りの八ゲームは一、二位の得点でゲームが進行するにつれて優勝が次勝かの息づまる接戦。最後の綱引にかけられる……無念！ 総合得点一〇一点で、昨年に続いて惜しくも次勝。

- 各チーム成績は次のとおり。
- 一位 二組(下新町一、二、三) 一〇五点
 - 二位 一組(南山見地区) 一〇一点
 - 三位 十二組(東町、北川、北新町)

南山見地区体育祭

地区民の体力づくりレクリエーションの行事として、昨年に続き第二回地区民体育祭を、十月七日の予定が十月二十一日に延期して行われた。

朝七時、快晴の空へ開催図の花火が打上げられ、八時すぎには各チームのテントの下へ続々と参集。審判員は地区内の体力づくり推進委員の協力で競技運営。町長(代理)、教育長、町議等来賓多数。

九時、箭原武平大会委員長の開会宣言で大会の幕が切っておとされた。大会途中より空模様があやしくなり雨も降り出し、綱引は中止。進行係、会場係の方々のテキパキとした運営により終始なごやかに大会を終了した。

- 各チームの成績は次のとおり。
- 一位 五組(院瀬見一、二) 四六點
 - 二位 六組(沖一、二) 三九・五點
 - 三位 二組(東、清、連) 三七・五點
 - 四位 一組(院瀬見三、四) 三〇點
 - 五位 三組(谷、団地、志) 二九點
 - 六位 四組(川、戸、里領) 二八點

寄贈御礼

この程、日頃から公民館活動にたいしより深いご理解をいただいております皆様方から、次のようなご芳情を賜りましたので、町民各位と共に厚く御礼申し上げます。

- 記
- 一、カラータレビ
 - 里領 箭原 幸吉 殿
 - 一、書 籍
 - 夏目漱石全集 十二巻
 - 東京都 岡田 源治 殿

高令者教室より

昨年を顧みて

八乙女山と大寺山の裾野と、朝な夕にその普天台宗の寺があった医王山の霊峰を眺め乍ら生活している南山見は、自然天恵であると思えます。

村の中央に白く見える保育所と公民館があります。公民館では昨年高令者の会合が十数回あった。講習は大部分宗教が主題になっていました。旅行は神社仏閣と名所巡りしています。特に印象に残っているのは俱利伽羅不動尊、二俣の本泉寺、白山スパー林道その他となっています。公民館内では講習、軽体操、なお広瀬事務長に拠って民謡を楽しませて貰っています。

次に我々高令者が心掛けねばならぬ事は家庭内にあつては無理したり言わぬ事、祖先より伝わった事などを子孫に知ってもらふ事、常に自分の健康を保持するように、家庭にあつてはつとめて心身を働かせる事、又人様に迷惑をかけない様に殊に交通に細心の注意せねばなりません。なお昨年の出来事を今一度繰返して反照して本年度にその長短を補充しようではありませんか。

新しい年を迎えるに当って、日頃我々高令者に対してお世話下さっている学級における先生と、後援して下さいる有志方に厚くお礼申しあげます。なお本年もよろしくお願い申しあげます。

地区のコミュニティの場としての文化祭も、回を重ねて十一月二十三日、勤労感謝の日を選んで、公民館傘下の各種団体、学級の活動発表展示を中心にして、バザー、お茶席等で公民館会場は人の波でザワめいた。開館十時に予定していたのを保育所の行事に合わせる八時三十分になり一般開放とした。

午後からは保育所ホールに於いては、少年研修館生による劇、

第二回 地区文化祭

コーラス、合奏、児童クラブ育成会の奇術、クイズ、また婦人学級レクリエーションクラブの民謡踊等で会場観覧者を満悦させた。

また成年部では盤持大会、新しい試みでトラクター運転技術競技会を農協の協力で開かれ参観者の高評を得た。

文化祭に併せて体力づくり教室主催による持久走大会を催し雨の中を午前八時三十分、公民館前を力強く出発、三十分後には完走者が続々とゴール目指して入ってくる。

各種の入賞等は次のとおり。
【家庭菜園品評会】
里芋 高橋信行 高田達次

井波町民憲章

1. 自然を愛し、環境をととのえ、美しい町をつくります。
1. 感謝の心をたいせつにし、秩序をたつとび、住みよい町をつくります。
1. 知性をみがき、芸術にしたしみ、香り高い文化の町をつくります。
1. 仕事に誇りと希望をもち、活気にみちた町をつくります。
1. 心身をきたえ、明るい家庭をきざぎ、すこやかな町をつくります。

- 白菜 前川順作 中村美津夫
- 大豆 朝倉三郎
- 白蕪 山本幸吉
- 【トラクター運転競技会】
- 一位 谷川有吉・宮川文夫チーム
- 二位 箭原幸雄・岩崎寛チーム
- 三位 前川哲郎・森哲男チーム
- 【盤持大会】
- 九十キロ 谷田隆信 須川義孝 池田喜昭 山田勝弘

【体力づくり持久走大会】

- ・六キロコース
- ①山田勝弘 ②亀田博信 ③須川義孝
- ・三キロコース
- (婦人)
- ①山本智子 ②田中美智子 ③才川澄江・山本康子
- (小学男高学年)
- ①前川幸 ②田中仁 ③横江聡亨
- (小学女高学年)
- ①武田聡子

- ①滝田香 ②須川千亜紀
- (小学男低学年)
- ①山田秀孝 ②須川大 ③山田健司
- (小学女低学年)
- ①箭原明由美 ②滝田真紀



◆にわとりづか

八乙女山は井波を象徴する名山である。七カ村の入会地に周りが五十四メートルと三十六メートルの山が相對している。この七カ村の山に、一メートルぐらゐの岩穴がたくさんあつて人々は風穴と呼び、ここから「井波風」が吹くと信じられてきた。この風穴から一〇〇メートルばかりにある塚を鶏塚といひ、この塚に黄金の鶏がいて、元日に八声、暁を告げるといわれる。この声を聞いたものは幸せになるといふ。

正月の「みなみやまみ」誌



◆トシトク(歳徳)

いろいろのカンサマ(鍵様と神様の合わせた感じ)の首が向いている方向から歳徳(トシトク)がくると信じられていた。正月十四日夜の左義長を「トシトク焼く」というのもこれと関連している。この火の残り火で餅を焼くと病氣にかからぬとか、歯痛が治るとか、一年の幸せを願う祈りの気持が込められている。

◆鴨追い

正月十五日には農民の願いをこめた行事がいろいろある。その一つに「鴨追い(カモボイ)」がある。カモというのは害鳥の総括名称である。十五日朝、子供連の行事で人より運れると害鳥がわが田へくるといので早く起きて田へ行つた。また大人が木槌をひいて、苗代田の畦や屋敷のめぐりを歩くモクロ(もぐら)追いも鴨追いの歌も知る人は少なくなつた。

―「歳時記とやま」等より―

箭原 章氏

輝く日展連続入選

昭和五十三年十月、南山見地区より、初めて日展作家が誕生した。彼は箭原幸作氏の次男として、昭和二十七年六月今里に生きた。南山見小学校、井波中学校を卒業後、井波町の森田清一氏(日展特選作家)の門に入り、木彫の技を始めて十年。昭和五十三年十月、日展彫刻の部に「青年」を出品して初入選、五十四年「模(さぐる)」を出品し、めでたく連続入選をはたし、志を同じくする若き仲間には大きな希望と、はげみをあたえたとともに、先輩諸氏にも大きな期待をかけられている好青年である。

南山見地区民一同は、彼の連続入選を心より喜び、今後一層のご精進とご活躍を念じている。

◆公民館今後の活動予定◆

青年団

一月：成人者を祝う会 卓球バドミントン大会 機関紙南青新年号
二月：国内研修―江田島 電話帳発行 連青の集い 機関紙南青二月号
三月：定例会 総会

婦人会

一月定例会初顔合せ 二月追悼会 三月総会
一月農事反省会稲作一年の反省 二月教養講座日本経済について
一月レクリエーション大会 二月講演会、家庭スポーツ

成年部

一月カルタ大会 三月ひなまつり
一月皆んなでスポーツを親子卓球 二月バレーボール 三月体力テスト

婦人学級総合

一月美の装い 二月くらしと法律 三月宗教講座夫婦愛 反省会
文化部茶道 一月初釜 二月茶花 三月ひな茶花

文化部生花

三月盛花
レクリエーション 一月楽しく踊ろう 二月民謡

少年研修館

一月母と子のおやつづくり 二月親子で雪のカーニバル、講演会、反省会
一月カルタ大会 二月節分雪像づくり 三月ひなまつり

いけばなクラブ

山本康子

花の名を知り自然に親しむことに目標をおき会員二四名は花を生けることに努力しています。仕事を終えて疲れた体で習う心に身が入らないこともありませす。でもほんの二時間余り花にふれることによつてやすらぎを覚え生け花によつて自然の美しさ・厳しさを知りたいと思います。

茶道クラブ

武田十四子

公民館よりお茶の道具を買つて

いただき、クラブ活動を九回しました。日頃目まぐるしい日々を過ごしている私達ですが、正座してぎこちない手つきでお茶をいただく時は、なんとなく充実する思いがします。文化祭には大勢の方に来ていただき、特に子供達が「私にもさせて、ぼくにも」と畳に正座してお茶をいただいでくれたことは、とてもうれしく思いました。先生、クラブのみなさんの理解のもと道具を二点買い、来年の初釜には一人でも多く来ていただきたいとお待ちいたします。

少年研修館生作文

学習遊びよう会

やはら あゆみ

十二月二十五日は、わたしたちの学習遊びようかいの日です。山のおんがくかをびあのでひくのです。わたしはお母さんや、おとうさんにみられるので、いっしょうけんめいにれんしゅうをしました。むねがどきどきします。せんせいが「あんまりいっしょうけんめいしすぎたら、またまちがえますよ」といわれ、わたしはどうしてけんにしすぎたら、まちがえるのかわかりません。それからプレールームでせんせいのいわれたことを、おもいだしれんしゅうをしました。そしたらまちがえずにできました。わたしのおもったことには、ようちえんにはいっばいものをうるのに、しょうがっこうにはどうしてものをうらないのだろう。ぶたいの上のぼるとお母さんのおがみえたのがんばろうと思つた。

はつびようかいがおわつてプレールームへいくとせんせいが一〇〇点といわれたのでとてもうれしかった。

編集後記

昨年は、お互いに全力投球した一年でありました。今年も、さらに健康で頑張りたいですね。今後公民館活動についての意見等どしどしお寄せ下さい。

なお紙面の都合で皆様からの原稿を割愛させていただきましたのでお許し下さい。